

ダラキューロ+Bd療法 1クール目(再発難治多発性骨髄腫)

	1	2	3	4	5	休業期間
	基準日	3日後	7日後	10日後	14日後	20日後
点滴・注射	<p>■---[注射]</p> <p>大塚生食注【20mL】…1管 抗)ボルテゾミブ注射用…1.3mg/m² 1Vあたり2mg製剤のものは0.8mL、3mg製剤のものは1.2mLの生食で溶解し、2.5mg/mLの溶液に調製すること。 ×1回 医師の指示通り 皮下注射…1</p> <p>抗)ダラキューロ配合皮下注…1800mg/body 心電図モニター使用 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。 ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキューロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg+カロナール錠1000mgを内服する ダラキューロとボルテゾミブを同一部位に皮下投与しないこと 皮下注射…1</p>	<p>■---[注射]</p> <p>大塚生食注【20mL】…1管 抗)ボルテゾミブ注射用…1.3mg/m² 1Vあたり2mg製剤のものは0.8mL、3mg製剤のものは1.2mLの生食で溶解し、2.5mg/mLの溶液に調製すること。 ×1回 医師の指示通り 皮下注射…1</p>	<p>■---[注射]</p> <p>大塚生食注【20mL】…1管 抗)ボルテゾミブ注射用…1.3mg/m² 1Vあたり2mg製剤のものは0.8mL、3mg製剤のものは1.2mLの生食で溶解し、2.5mg/mLの溶液に調製すること。 ×1回 医師の指示通り 皮下注射…1</p> <p>抗)ダラキューロ配合皮下注…1800mg/body 心電図モニター使用 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。 ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキューロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg+カロナール錠1000mgを内服する ダラキューロとボルテゾミブを同一部位に皮下投与しないこと 皮下注射…1</p>	<p>■---[注射]</p> <p>大塚生食注【20mL】…1管 抗)ボルテゾミブ注射用…1.3mg/m² 1Vあたり2mg製剤のものは0.8mL、3mg製剤のものは1.2mLの生食で溶解し、2.5mg/mLの溶液に調製すること。 ×1回 医師の指示通り 皮下注射…1</p>	<p>■---[注射]</p> <p>抗)ダラキューロ配合皮下注…1800mg/body 心電図モニター使用 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。 ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキューロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg+カロナール錠1000mgを内服する 皮下注射…1</p>	<p>■---[コメント]</p> <p>休業期間</p>
薬物投与	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/2日 レスタミンコフ錠 ……5錠 1×/1日 カロナール錠500 ……2錠 1×/1日 モンテルカスト錠10mg ……1錠 1×/1日</p>	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/2日</p>	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/2日 レスタミンコフ錠 ……5錠 1×/1日 カロナール錠500 ……2錠 1×/1日</p>	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/2日</p>	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/1日 レスタミンコフ錠 ……5錠 1×/1日 カロナール錠500 ……2錠 1×/1日</p>	

ダラキューロ+Bd療法 2～3クール目 1週間隔(再発難治性多発性骨髄腫)

	1	2	3	4	5	休業期間
	基準日	3日後	7日後	10日後	14日後	20日後
点滴・注射	<p>■---[注射]</p> <p>大塚生食注【20mL】…1管 抗)ボルテゾミブ注射用…1.3mg/m² 1Vあたり2mg製剤のものは0.8mL、3mg製剤のものは1.2mLの生食で溶解し、2.5mg/mLの溶液に調製すること。 ×1回 医師の指示通り 皮下注射…1</p> <p>抗)ダラキューロ配合皮下注…1800mg/body 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。 ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキューロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg+カロナール錠1000mgを内服する ダラキューロとボルテゾミブを同一部位に皮下投与しないこと 皮下注射…1</p>	<p>■---[注射]</p> <p>大塚生食注【20mL】…1管 抗)ボルテゾミブ注射用…1.3mg/m² 1Vあたり2mg製剤のものは0.8mL、3mg製剤のものは1.2mLの生食で溶解し、2.5mg/mLの溶液に調製すること。 ×1回 医師の指示通り 皮下注射…1</p>	<p>■---[注射]</p> <p>大塚生食注【20mL】…1管 抗)ボルテゾミブ注射用…1.3mg/m² 1Vあたり2mg製剤のものは0.8mL、3mg製剤のものは1.2mLの生食で溶解し、2.5mg/mLの溶液に調製すること。 ×1回 医師の指示通り 皮下注射…1</p> <p>抗)ダラキューロ配合皮下注…1800mg/body 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。 ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキューロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg+カロナール錠1000mgを内服する ダラキューロとボルテゾミブを同一部位に皮下投与しないこと 皮下注射…1</p>	<p>■---[注射]</p> <p>大塚生食注【20mL】…1管 抗)ボルテゾミブ注射用…1.3mg/m² 1Vあたり2mg製剤のものは0.8mL、3mg製剤のものは1.2mLの生食で溶解し、2.5mg/mLの溶液に調製すること。 ×1回 医師の指示通り 皮下注射…1</p>	<p>■---[注射]</p> <p>抗)ダラキューロ配合皮下注…1800mg/body 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。 ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキューロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg+カロナール錠1000mgを内服する 皮下注射…1</p>	<p>■---[コメント]</p> <p>休業期間</p>
薬物投与	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/2日 レスタミンコフ錠 ……5錠 1×/1日 カロナール錠500 ……2錠 1×/1日</p>	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/2日</p>	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/2日 レスタミンコフ錠 ……5錠 1×/1日 カロナール錠500 ……2錠 1×/1日</p>	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/2日</p>	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/1日 レスタミンコフ錠 ……5錠 1×/1日 カロナール錠500 ……2錠 1×/1日</p>	

ダラキューロ+Bd療法 4～8クール目 3週間隔(再発難治性多発性骨髄腫)

	1	2	3	4	休業期間
	基準日	3日後	7日後	10日後	20日後
点滴・注射	<p>■---【注射】</p> <p>大塚生食注【20mL】…1管 抗)ボルテゾミブ注射用…1.3mg/m² 1Vあたり2mg製剤のものは0.8mL、3mg製剤のものは1.2mLの生食で溶解し、2.5mg/mLの溶液に調製すること。 ×1回 医師の指示通り 皮下注射…1</p> <p>抗)ダラキューロ配合皮下注…1800mg/body 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。 ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキューロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg+カロナール錠1000mgを内服する ダラキューロとボルテゾミブを同一部位に皮下投与しないこと 皮下注射…1</p>	<p>■---【注射】</p> <p>大塚生食注【20mL】…1管 抗)ボルテゾミブ注射用…1.3mg/m² 1Vあたり2mg製剤のものは0.8mL、3mg製剤のものは1.2mLの生食で溶解し、2.5mg/mLの溶液に調製すること。 ×1回 医師の指示通り 皮下注射…1</p>	<p>■---【注射】</p> <p>大塚生食注【20mL】…1管 抗)ボルテゾミブ注射用…1.3mg/m² 1Vあたり2mg製剤のものは0.8mL、3mg製剤のものは1.2mLの生食で溶解し、2.5mg/mLの溶液に調製すること。 ×1回 医師の指示通り 皮下注射…1</p>	<p>■---【注射】</p> <p>大塚生食注【20mL】…1管 抗)ボルテゾミブ注射用…1.3mg/m² 1Vあたり2mg製剤のものは0.8mL、3mg製剤のものは1.2mLの生食で溶解し、2.5mg/mLの溶液に調製すること。 ×1回 医師の指示通り 皮下注射…1</p>	<p>■---【コメント】</p> <p>休業期間</p>
薬物投与	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/2日 レスタミンコフ錠 ……5錠 1×/1日 カロナール錠500 ……2錠 1×/1日</p>	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/2日</p>	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/2日</p>	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/2日</p>	

ダラキューロ+Bd療法 9クール目以降 4週間隔(再発難治性多発性骨髄腫)

	1	休業期間
	基準日	27日後
点滴・注射	<p>■---【注射】</p> <p>抗)ダラキューロ配合皮下注…1800mg/body 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。 ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキューロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg+カロナール錠1000mgを内服する 皮下注射…1</p>	<p>■---【コメント】</p> <p>休業期間</p>
薬物投与	<p>レナデックス錠 ……5錠 1×/1日 レスタミンコフ錠 ……5錠 1×/1日 カロナール錠500 ……2錠 1×/1日</p>	